



投資型年金保険



アクサ生命保険株式会社



redefining / standards

特別勘定（世界分散型20MU）

月次運用実績レポート

2009年11月



【利用する投資信託の委託会社】 三菱UFJ投信株式会社

三菱UFJ投信株式会社は、2005年10月の合併により、幅広い商品ラインアップと充実した販売網、そして様々な商品カテゴリーに対応できる運用体制を確立いたしました。

引き続き、広くお客さまのニーズと信頼にお応えし、質の高い運用とサービスを誠実にご提供することを目指して参ります。

- ・アクサ生命保険株式会社の「変額個人年金保険(07)終身D3型」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用対象として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしているので、合計等と合致しないことがあります。

変額個人年金保険(07) 終身D3型 特別勘定の月次運用実績レポート (2009年11月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を9/9ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社で作成した運用環境をアクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

運用環境 [2009年11月]

【日本株式市場】

11月の国内株式市場では、東証株価指数(TOPIX)が前月比6.12%下落しました。月初の国内株式相場は、前月までの下落基調を引き継ぎ軟調に始まりました。対米ドルで90円前後の円高水準が続いたことや新政権の景気対策や財政支出へのスタンスが明確でないとの見方などが相場の下押し要因となりました。その後、大型増資の発表が相次いだことで、相場は下げ幅を拡大しました。下旬にかけては、11月上旬開催のFOMC(米連邦公開市場委員会)議事録公開を契機に米ドルの先安感が一段と強まったことやUAE(アラブ首長国連邦)のドバイ政府系企業の債務返済延期要請から、約14年ぶりの水準まで円高米ドル安が進み、輸出関連株や金融株が一段と売り込まれる場面もありました。月末には、今年度の第2次補正予算編成の動きが活発化したことなどで相場はやや反発しましたが、結局、月間ではTOPIXは3ヵ月連続の下落となりました。企業の上期決算結果は従来計画に比べじて良好でしたが、相場全体への影響は限定的でした。

【外国株式市場】

11月の米国株式市場は上昇しました。上旬は、ISM(米供給管理協会)製造業景気指数が前月比上昇したことやG20(20か国・地域)財務相・中央銀行総裁会議で、各国政府が景気刺激策の維持で合意したことなどを背景に上昇しました。中旬には、一段高となる場面があったものの、その後は高値警戒感が強まったことからみ合いの動きとなりました。下旬にかけては、米7-9月期実質GDP(国内総生産)成長率の改定値が下方修正されるなど、一部経済指標が悪化したことに加え、ドバイの政府系企業が債務返済延期の方針を発表したことなどを嫌気し、軟調に推移しました。欧州株式市場では、ドイツ株式相場は上昇しました。前半は、ユーロ圏の7-9月期実質GDP速報値など景気の底入れを示す経済指標の発表に恵まれ、堅調に推移しました。下旬に入ってから、25日にドバイの政府系企業が債務返済延期の方針を発表すると、一転して大幅な調整を迫られましたが、10月末の水準を上回って月末を迎えました。

【日本債券市場】

11月の国内債券市場では、長期金利(新発10年国債利回り)は低下(債券価格は上昇)しました。上旬の長期金利は、前月からの上昇基調を引き継ぎ、水準を切り上げる展開となりました。来年度の当初予算規模が今年度比で大幅に増額される可能性が高まったことや今年度税収が当初計画比大きく下振れるとの見方から、国債増発に伴う需給悪化懸念が一段と強まり、長期金利を押し上げました。しかし、中旬以降は、それまでの長期金利上昇で債券の割安感が強まるなか、国内株式相場の下落や米国など海外長期金利の低下傾向などから、国内長期金利は急速に低下しました。月末にかけて、為替相場が、約14年ぶりの円高米ドル安水準となったことも、長期金利低下を後押ししました。なお、16日に発表された7-9月期の実質GDP(国内総生産)成長率は、前年比年率で+4.8%と良好な結果でしたが、市場の反応は限られました。

【外国債券市場】

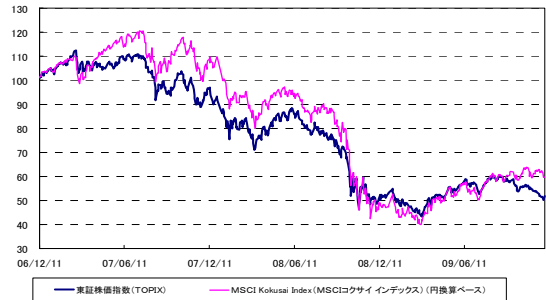
11月の米国債券市場では、長期金利(米国10年国債利回り)が低下(債券価格は上昇)しました。月初は、ISM(米供給管理協会)製造業景気指数など経済指標が改善したことやFOMC(米連邦公開市場委員会)声明文を受け、インフレを誘発するとの懸念が高まり、長期金利が上昇しました。その後は、10月の失業率が前月から大きく上昇したことなどから、長期金利は低下に転じました。中旬以降も、国債入札が順調だったことを背景に低下基調で推移しました。月末には、ドバイの政府系企業が債務返済延期の方針を発表したことを受けて、長期金利は一段と低下しました。欧州債券市場では、ドイツ10年国債利回りが低下(債券価格は上昇)しました。株式相場がもみ合いで推移するなか、長期金利の上昇も一服しましたが、25日のドバイ問題を受けて投資家のリスク回避姿勢の強まりから安全資産とされる国債に資金が流入し、長期金利は急速に低下しました。

【外国為替市場】

11月は米ドルが対円で下落しました。月前半は、ISM(米供給管理協会)製造業景気指数など経済指標の改善を受けて、高金利通貨への需要が高まり、低金利の米ドル、円ともに売られたことから、円/米ドル相場は小動で推移しました。しかしながら、その後はIMF(国際通貨基金)が7日に公表した報告書で、「ドルは資金調達通貨として使われ、なお過大評価されている可能性がある」と指摘したことや11月上旬開催のFOMC(米連邦公開市場委員会)議事録で、最近の米ドル下落は「秩序のあるもの」との認識が示されたことから、ドル売り圧力が徐々に強まる展開となりました。また、月末にかけては、ドバイの政府系企業が債務返済延期の方針を発表したことを受けて、リスク回避的な円買いの動きが強まり、一段の円高・米ドル安となりました。11月はユーロが対円で下落しました。月前半は、リスク回避的なドル需要の減少からユーロ高・ドル安が進行し、ユーロは対円でもやや水準を切り上げました。しかし、後半に入り、特に25日にドバイの政府系企業が債務返済延期の方針を発表すると、円が買い戻され、ユーロは対円で前月末の水準を下回って月末を迎えました。

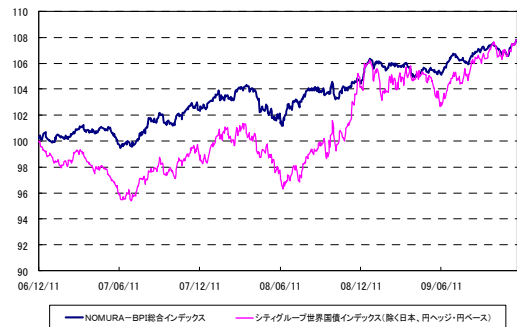
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2006年12月11日の前営業日を100として指数化しています。

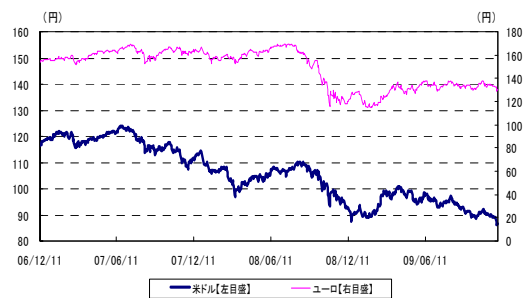


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフはNOMURA-BPI総合インデックスは2006年12月11日の前営業日を、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)は2006年12月11日をそれぞれ100として指数化しています。



外国為替市場の推移



・三菱東京UFJ銀行発表の対顧客直物電信売相場の仲値(TTM)です。

【取扱者(生命保険募集人)】



株式会社 三菱東京UFJ銀行

三菱東京UFJ銀行コールセンター[保険]

0120-860-777

月~金曜日9:00~17:00(祝日・12/31~1/3等を除く)

<http://www.bk.mufl.jp>

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL 0120-933-399

アクサ生命株式会社 <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07) 終身D3型 特別勘定の月次運用実績レポート (2009年11月)

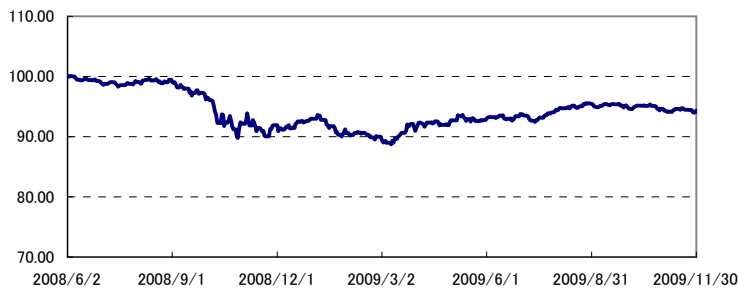
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
 ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を9/9ページに掲載していますので必ずご参照ください。
 ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。
 後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2009年11月末日現在]

特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界分散型20MU	<ul style="list-style-type: none"> ● 当ファンドは、TOPIXマザーファンド受益証券10%、日本債券インデックスマザーファンド受益証券40%、外国株式インデックスマザーファンド受益証券10%、およびMUAMヘッジ付外国債券オープンマザーファンド受益証券40%を標準資産配分とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ● 各受益証券の時価変動による標準資産配分からの乖離については、1か月に1回程度リバランスを行ない、これを修正し、標準資産配分を維持します。 ● 当ファンドの主なリスク <ul style="list-style-type: none"> ・市場リスク(価格変動リスク)(為替変動リスク) ・信用リスク ・流動性リスク
利用する投資信託	
三菱UFJバランスファンドVA 20型 ＜適格機関投資家限定＞	

■特別勘定のユニット・プライスの推移

※特別勘定のユニット・プライスは、各特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定のユニット・プライス		騰落率	
2009年11月末	94.36	過去1ヶ月	▲0.28%
2009年10月末	94.62	過去3ヶ月	▲1.10%
2009年9月末	95.22	過去6ヶ月	1.73%
2009年8月末	95.40	過去1年	2.68%
2009年7月末	94.45	過去3年	—
2009年6月末	93.78	設定来	▲5.64%

・特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定の設定日(2008年6月2日)を100.00として計算しております。

・実際のユニット・プライスの小数点第三位を四捨五入して表示しています。
 ・騰落率は、該当月の月末のユニット・プライスに対する今月末のユニット・プライスの変動率を表しています。

■特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型20MU	
	金額(千円)	比率
その他有価証券	7,422,055	99.5%
現預金・その他	35,567	0.5%
合計	7,457,622	100.0%

・各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。

・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

【取扱者(生命保険募集人)】



株式会社 三菱東京UFJ銀行

三菱東京UFJ銀行コールセンター[保険]

0120-860-777

月～金曜日9:00～17:00(祝日・12/31～1/3等を除く)

<http://www.bk.mufg.jp>

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL 0120-933-399

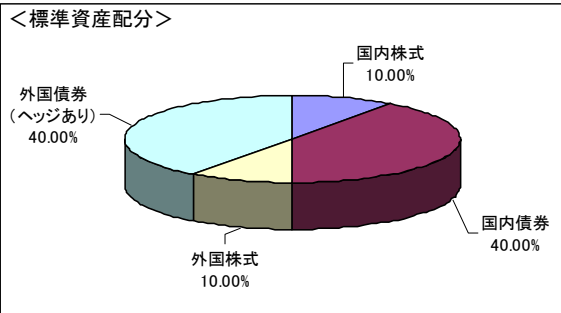
アクサ生命株式会社 <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07)終身D3型 特別勘定の月次運用実績レポート (2009年11月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
 ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を9/9ページに掲載していますので必ずご参照ください。
 ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。
 後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。
 ・当ページは、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、
 内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の運用状況 [2009年11月末現在]

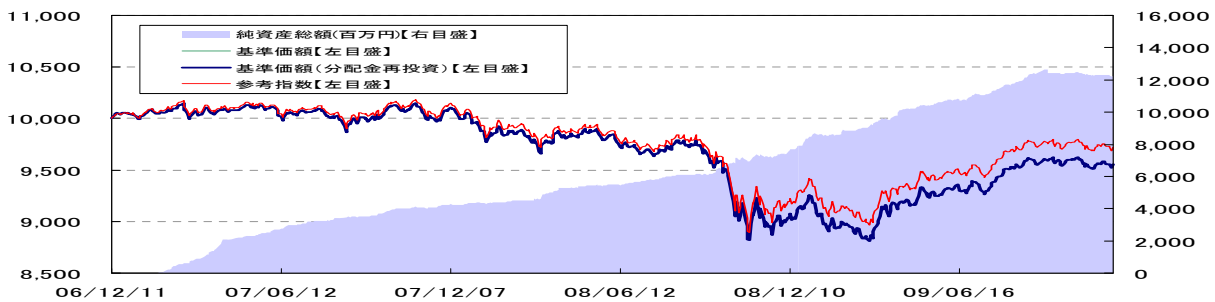
■ファンドの特色



- ①TOPIXマザーファンド受益証券、日本債券インデックスマザーファンド受益証券、外国株式インデックスマザーファンド受益証券およびMUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
- ②TOPIXマザーファンド受益証券10%、日本債券インデックスマザーファンド受益証券40%、外国株式インデックスマザーファンド受益証券10%およびMUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド受益証券40%を標準資産配分とし、これを維持します。
- ③各受益証券の時価変動による標準資産配分からの乖離については、1か月に1回程度リバランスを行い、これを修正します。
 なお、リバランスに必要な資金を確保するため、保有する受益証券の一部を解約し、短期金融資産による運用とする場合があります。

■基準価額の推移

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- ・グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.294%(税抜0.28%))控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ・参考指数は、東証株価指数(TOPIX)10%、NOMURA-BPI総合インデックス40%、MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)(円換算ベース)10%およびシングループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)40%で組み合わせた合成指数です。

■概況

	2009/11/30	前月末	前月末比
基準価額	9,553円	9,560円	-7円
純資産総額(百万円)	12,250	12,355	-105

	基準価額	日付
設定来高値	10,152円	2007/2/27
設定来安値	8,810円	2009/3/10

■騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-0.07%	-0.47%	3.10%	5.48%	-	-4.47%
参考指数	-0.12%	-0.49%	3.15%	5.69%	-	-2.77%
差	0.04%	0.02%	-0.05%	-0.22%	-	-1.70%

・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。
 また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

■資産構成

	標準資産配分	ファンドの資産構成
国内株式	10.00%	9.25%
国内債券	40.00%	39.55%
外国株式	10.00%	9.62%
外国債券(ヘッジあり)	40.00%	39.17%
短期金融資産	0.00%	2.41%
合計	100.00%	100.00%

- ・ファンドの資産構成は当ファンドに組み入れている実質的な資産の比率(純資産総額比)。
- ・計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融資産」の値がマイナスで表示されることがあります。
 (注)REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。

■分配金実績(税引前)

	直前期	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前	設定来累計
決算日	2009/2/20	2008/2/20	2007/2/20	-	-	-	
分配金	0円	0円	0円	-	-	-	0円

・1万円当たりの税引前分配金実績です。

【取扱者(生命保険募集人)】

株式会社 三菱東京UFJ銀行

三菱東京UFJ銀行コールセンター[保険]

0120-860-777

月~金曜日9:00~17:00(祝日・12/31~1/3等を除く)

<http://www.bk.mufj.jp>

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL 0120-933-399

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07)終身D3型 特別勘定の月次運用実績レポート (2009年11月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を9/9ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

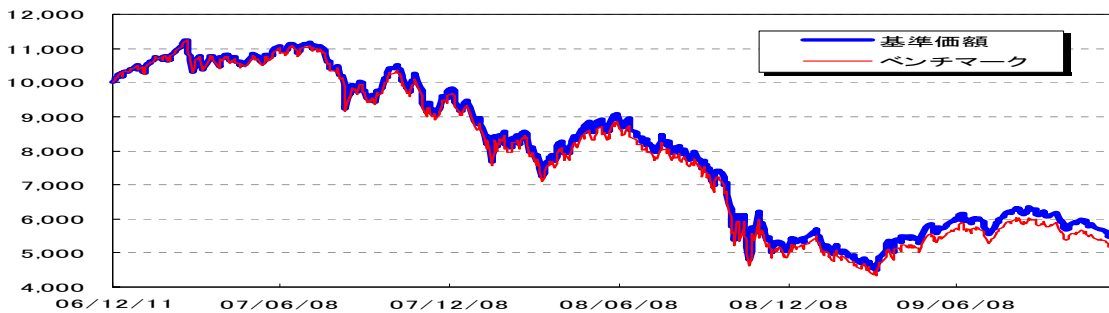
マザーファンド(TOPIXマザーファンド)の運用状況 [2009年11月末日現在]

■マザーファンド(TOPIXマザーファンド)の特色

- ・東京証券取引所第一部に上場されている株式を主要投資対象とし、ベンチマークである東証株価指数(TOPIX)と連動する投資成果を目指した運用を行います。
- ・東証株価指数(TOPIX)から乖離するリスクと運用コストの極小化を目的として、定量的なリスク管理に基づいたポートフォリオ構築と適切な売買執行を行います。
- ・株式の実質投資比率(組入現物株式の時価総額に株価指数先物取引等の買建額を加算し、または株価指数先物取引等の売建額を控除した額の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。)は原則として高位を維持します。ただし、ベンチマークとの連動を維持するため、実質投資比率を引き下げる、あるいは実質投資比率を100%以上に引き上げる運用指図を行うことがあります。

■基準価額の推移【ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)です】

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- ・グラフは、三菱UFJバランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を10,000として指数化しています。
- ・東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国株全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

■資産構成

	2009/11/30	前月末	前月末比
実質国内株式組入比率	100.16%	100.07%	0.09%
内 現物	97.52%	97.57%	-0.04%
内 先物	2.64%	2.51%	0.13%

・比率は純資産総額に対する割合です。

■株式組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 1680 銘柄)

	銘柄	ファンド	ベンチマーク
1	トヨタ自動車	4.18%	4.29%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	2.64%	2.71%
3	ホンダ	2.04%	2.09%
4	キヤノン	1.83%	1.87%
5	日本電信電話	1.38%	1.41%
6	三井住友フィナンシャルグループ	1.36%	1.40%
7	三菱商事	1.36%	1.39%
8	東京電力	1.30%	1.33%
9	武田薬品工業	1.25%	1.28%
10	みずほフィナンシャルグループ	1.23%	1.26%

・比率は純資産総額に対する割合です。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

■騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-6.13%	-12.44%	-5.74%	2.63%	-	-45.05%
ベンチマーク	-6.12%	-13.03%	-6.46%	0.61%	-	-48.03%
差	-0.01%	0.59%	0.72%	2.01%	-	2.99%

・騰落率は、三菱UFJバランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。

・設定来の騰落率は、三菱UFJバランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を起点として計算しています。

■株式組入上位10業種

	業種	ファンド	ベンチマーク
1	電気機器	13.75%	13.75%
2	輸送用機器	10.07%	10.07%
3	銀行業	9.60%	9.60%
4	化学	5.84%	5.81%
5	情報・通信業	5.76%	5.77%
6	電気・ガス業	5.51%	5.51%
7	卸売業	4.93%	4.93%
8	機械	4.51%	4.51%
9	医薬品	4.40%	4.40%
10	陸運業	4.17%	4.17%

・比率は現物株式評価額に対する割合です。

【取扱者(生命保険募集人)】



株式会社 三菱東京UFJ銀行

三菱東京UFJ銀行コールセンター[保険]

0120-860-777

月～金曜日9:00～17:00(祝日・12/31～1/3等を除く)

<http://www.bk.mufg.jp>

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL 0120-933-399

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07)終身D3型 特別勘定の月次運用実績レポート (2009年11月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
 ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を9/9ページに掲載していますので必ずご参照ください。
 ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。
 後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。
 ・当ページは、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、
 内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

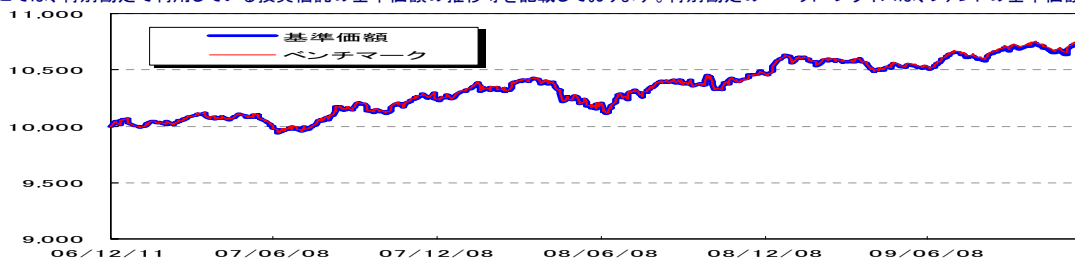
マザーファンド(日本債券インデックスマザーファンド)の運用状況 [2009年11月末日現在]

■マザーファンド(日本債券インデックスマザーファンド)の特色

・NOMURA-BPI総合インデックスに採用されている公社債を主要投資対象とし、ベンチマークであるNOMURA-BPI総合インデックスと連動する投資成果を目指した運用を行います。
 ・銘柄選択は、運用モデルを活用して行います。
 ・公社債の実質投資比率(組入現物公社債の時価総額に債券先物取引等の買建額を加算し、または債券先物取引等の売建額を控除した額の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。)は原則として高位を維持します。ただし、ベンチマークとの連動を維持するため、実質投資比率を引き下げる、あるいは実質投資比率を100%以上に引き上げる運用指図を行うことがあります。

■基準価額の推移【ベンチマークは、NOMURA-BPI総合インデックスです】

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



・グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を10,000として指数化しています。
 ・NOMURA-BPI総合インデックスは野村證券株式会社が公表している指数で、野村證券株式会社の知的財産です。野村證券株式会社は、当ファンドの運用成果等に関し、一切関係ありません。

■資産構成

	2009/11/30	前月末	前月末比
実質国内債券組入比率	98.31%	99.62%	-1.31%
内 現物	98.31%	99.62%	-1.31%
内 先物	0.00%	0.00%	0.00%

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.84%	0.72%	2.18%	2.79%	-	7.52%
ベンチマーク	0.86%	0.78%	2.28%	3.01%	-	7.72%
差	-0.01%	-0.06%	-0.10%	-0.22%	-	-0.20%

・騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。
 ・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を起点として計算しています。

■ポートフォリオプロフィール

	ファンド	ベンチマーク
残存年数	7.59年	7.14年
修正デュレーション	6.36年	6.32年
複利利回り	0.85%	0.87%

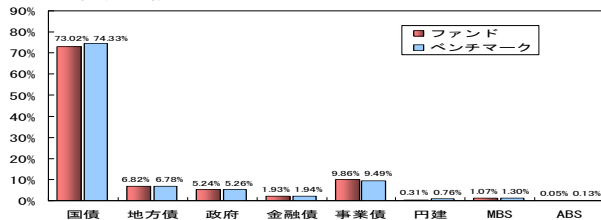
・数値は、債券現物部分について計算しています。
 ・「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
 ・修正デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、修正デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。
 ・「複利利回り」とは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
 ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。

■公社債組入上位10銘柄

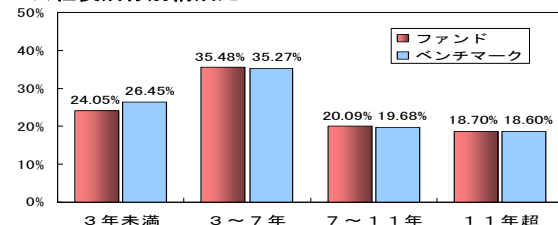
(組入銘柄数: 723 銘柄)

	銘柄	種別	クーポン	償還日	比率
1	第227回利付国債(10年)	国債	1.600%	2011/3/21	3.10%
2	第58回利付国債(5年)	国債	1.500%	2011/6/20	2.87%
3	第234回利付国債(10年)	国債	1.400%	2011/9/20	2.78%
4	第263回利付国債(10年)	国債	1.600%	2014/9/20	2.51%
5	第71回利付国債(5年)	国債	1.300%	2013/3/20	2.36%
6	第72回利付国債(5年)	国債	1.500%	2013/6/20	2.08%
7	第259回利付国債(10年)	国債	1.500%	2014/3/20	2.05%
8	第237回利付国債(10年)	国債	1.500%	2012/3/20	2.05%
9	第68回利付国債(5年)	国債	1.100%	2012/12/20	1.96%
10	第236回利付国債(10年)	国債	1.500%	2011/12/20	1.95%

■公社債種別構成比



■公社債残存別構成比



・比率は純資産総額に対する割合です。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【取扱者(生命保険募集人)】

株式会社 三菱東京UFJ銀行

三菱東京UFJ銀行コールセンター[保険]

0120-860-777

月~金曜日9:00~17:00(祝日・12/31~1/3等を除く)

<http://www.bk.mufg.jp>

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL 0120-933-399

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07)終身D3型 特別勘定の月次運用実績レポート (2009年11月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
 ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を9/9ページに掲載していますので必ずご参照ください。
 ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。
 後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。
 ・当ページは、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、
 内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

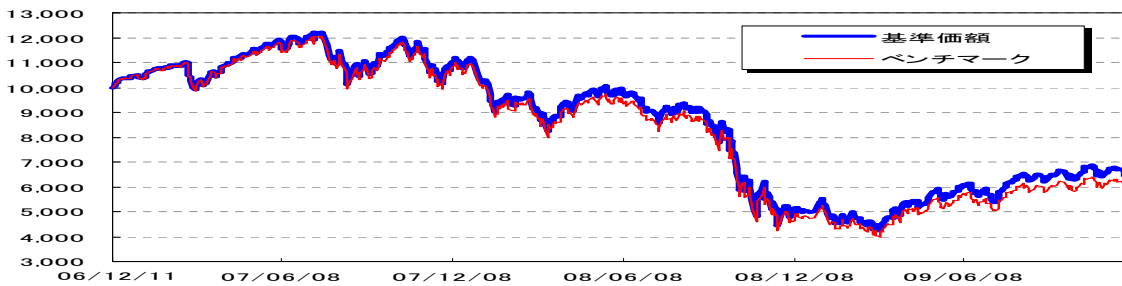
マザーファンド(外国株式インデックスマザーファンド)の運用状況 [2009年11月末日現在]

■マザーファンド(外国株式インデックスマザーファンド)の特色

・MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)(円換算ベース)に採用されている株式を主要投資対象とし、ベンチマークであるMSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)(円換算ベース)と連動する投資成果を目指した運用を行います。
 ・銘柄選択は、運用モデルを活用して行います。また、組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
 ・株式の実質投資比率(組入現物株式の時価総額に株価指数先物取引等の買建額を加算し、または株価指数先物取引等の売建額を控除した額の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。)は原則として高位を維持します。ただし、ベンチマークとの連動を維持するため、実質投資比率を引き下げる、あるいは実質投資比率を100%以上に引き上げる運用指図を行うことがあります。

■基準価額の推移【ベンチマークは、MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)(円換算ベース)です】

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



・グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を10,000として指数化しています。
 ・MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)(円換算ベース)は、MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)(米ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)はMSCI Inc. の財産であり、「MSCI」はMSCI Inc. のサービスマークです。

■資産構成

	2009/11/30	前月末	前月末比
実質外国株式組入比率	99.70%	99.98%	-0.28%
内 現物	97.27%	96.34%	0.93%
内 先物	2.43%	3.64%	-1.22%

・比率は純資産総額に対する割合です。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-2.93%	0.25%	11.14%	23.19%	-	-35.51%
ベンチマーク	-3.22%	-0.51%	9.92%	19.91%	-	-40.21%
差	0.29%	0.76%	1.22%	3.29%	-	4.71%

・騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。
 ・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を起点として計算しています。

■株式組入上位10銘柄

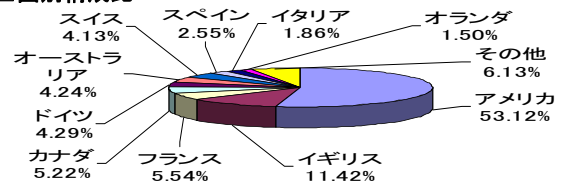
(組入銘柄数: 1268 銘柄)

順位	銘柄	国名	業種	ファンド	ベンチマーク
1	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	1.85%	1.91%
2	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.19%	1.22%
3	HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	銀行	1.02%	1.05%
4	PROCTER & GAMBLE CO/THE	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	0.92%	0.95%
5	BP PLC	イギリス	エネルギー	0.92%	0.94%
6	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア・機器	0.91%	0.93%
7	NESTLE SA-REG	スイス	食品・飲料・タバコ	0.89%	0.91%
8	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	0.88%	0.90%
9	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	0.86%	0.88%
10	INTL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア・機器	0.84%	0.87%

・比率は純資産総額に対する割合です。

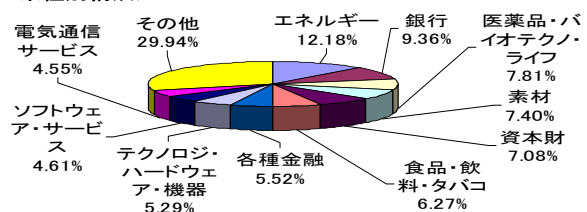
(注) 当ページの比率につき、REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。
 ・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

■国別構成比



・比率は現物株式評価額に対する割合です。
 ・国名は、投資対象銘柄の主要取引所を表しています。

■業種別構成比



・比率は現物株式評価額に対する割合です。

【取扱者(生命保険募集人)】

株式会社 三菱東京UFJ銀行

三菱東京UFJ銀行コールセンター[保険]

0120-860-777

月～金曜日9:00～17:00(祝日・12/31～1/3等を除く)

<http://www.bk.mufj.jp>

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL 0120-933-399

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07)終身D3型 特別勘定の月次運用実績レポート (2009年11月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
 ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を9/9ページに掲載していますので必ずご参照ください。
 ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。
 後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。
 ・当ページは、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、
 内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

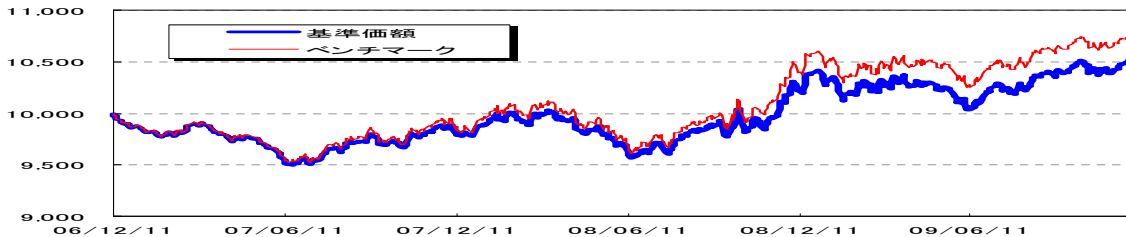
マザーファンド(MUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド)の運用状況 [2009年11月末日現在]

■マザーファンド(MUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド)の特色

・世界主要国の公社債(日本を除く)を主要投資対象とし、ベンチマークであるシティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)を中長期的に上回る投資成果を目指して運用を行います。
 ・運用にあたっては、クオンツモデルを活用することにより主要国の各債券市場を分析し、債券の残存期間構成戦略を超過収益の源泉とします。また、為替変動リスクを回避するため、原則としてフルヘッジを行います。
 ・株式への投資は、転換社債および転換社債型新株予約権付社債の転換等により取得したものに限りです。

■基準価額の推移【ベンチマークは、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)です】

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



・グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)を10,000として指数化しています。
 ・シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)とは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合投資利回りを各市場の時価総額で加重平均し指数化した債券インデックスです。

■資産構成

	2009/11/30	前月末	前月末比
実質外国債券組入比率	95.82%	101.11%	-5.29%
内 現物	95.82%	101.11%	-5.29%
内 先物	0.00%	0.00%	0.00%

・比率は純資産総額に対する割合です。

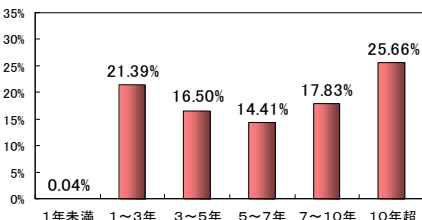
■公社債組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 81銘柄)

銘柄	種別	クーポン	償還日	国名	比率
1 4 BUND 180104	国債	4.00%	2018/1/4	ドイツ	4.13%
2 3.5 BUND 160104	国債	3.50%	2016/1/4	ドイツ	3.60%
3 5 T-NOTE 110815	国債	5.00%	2011/8/15	アメリカ	2.84%
4 5.5 O.A.T 290425	国債	5.50%	2029/4/25	フランス	2.62%
5 4.75 T-NOTE 140515	国債	4.750%	2014/5/15	アメリカ	2.40%
6 5 O.A.T 111025	国債	5.00%	2011/10/25	フランス	2.37%
7 4.875 T-NOTE 120215	国債	4.875%	2012/2/15	アメリカ	2.28%
8 5 ITALY GOVT 120201	国債	5.00%	2012/2/1	イタリア	2.26%
9 4.25 O.A.T 190425	国債	4.250%	2019/4/25	フランス	2.24%
10 4.75 ITALY GOVT 130201	国債	4.750%	2013/2/1	イタリア	2.16%

・比率は純資産総額に対する割合です。

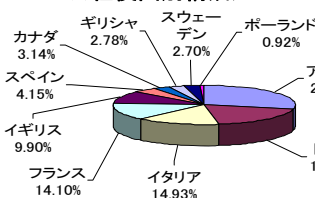
■公社債残存別構成比



・比率は純資産総額に対する割合です。

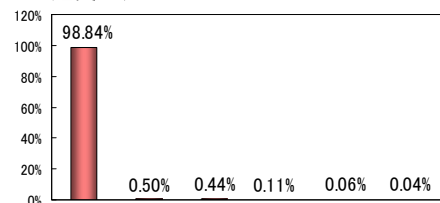
・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

■公社債国別構成比



・比率は現物債券評価額に対する割合です。

■通貨配分



・比率は、[外貨建て純資産-為替ヘッジ]で計算しており、通貨別にみた実質比率を表します。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.23%	1.36%	4.15%	3.44%	-	5.41%
ベンチマーク	1.17%	1.37%	4.27%	4.10%	-	7.83%
差	0.06%	-0.01%	-0.13%	-0.66%	-	-2.43%

・騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。
 ・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)を起点として計算しています。

■ポートフォリオプロフィール

	ファンド	ベンチマーク
残存年数	8.86年	8.21年
修正デュレーション	6.21年	5.99年
複利利回り	2.64%	2.55%

・数値は、債券現物部分について計算しています。
 ・「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
 ・「複利利回り」とは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
 ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。

【取扱者(生命保険募集人)】

株式会社 三菱東京UFJ銀行

三菱東京UFJ銀行コールセンター[保険]

0120-860-777

月~金曜日9:00~17:00(祝日・12/31~1/3等を除く)

<http://www.bk.mufg.jp>

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL 0120-933-399

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07) 終身D3型のリスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

- この保険は、積立金額および年金額などが特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。
- 特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債などで行っており、株式および公社債などの価格変動と為替変動などに伴う投資リスクがあります。
- 特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されます。特別勘定資産の運用リスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。
- 運用実績によっては、ご契約を解約した場合の解約払戻金額などが一時払保険料を下回り、損失が生じる場合があります。
- 特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待通りでなかった場合でも、アクサ生命、アクサ生命の募集代理店および第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

【諸費用について】

- この保険では、「契約初期費」、「保険関係費」、「運用関係費」の合計額をご負担いただきます。一般勘定で運用する年金をご選択の場合、他に「年金管理費」をご負担いただきます。

【ご契約時】

項目	費用	ご負担いただく時期
契約初期費	ご契約の締結等に必要の費用	一時払保険料に対して 5.0% 特別勘定に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。

【積立期間(運用期間)中および特別勘定終身年金支払期間中】

項目	費用	ご負担いただく時期
保険関係費	既払年金累計金額と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持等に必要の費用	特別勘定の積立金額に対して 年率2.55% 積立金額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費	投資信託の信託報酬等、特別勘定の運用等に必要の費用	特別勘定にて利用する投資信託における純資産額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

- * 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。運用関係費は、運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更になる可能性があります。

【一般勘定で運用する年金の支払期間中】


※ 一般勘定で運用する年金とは、保証期間付終身年金・保証期間付夫婦連生終身年金・確定年金・一時金付終身年金を意味します(年金支払特約等によりお受け取りいただく年金を含みます。)

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理等に必要な費用	年金額に対して 1.0%* 年金支払日に責任準備金から控除します。

- * 年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

変額個人年金保険(07)終身D3型「生涯年金」は現在販売しておりません。

【取扱者(生命保険募集人)】

 **株式会社 三菱東京UFJ銀行**
MUFJ
三菱東京UFJ銀行コールセンター[保険]
0120-860-777
月～金曜日9:00～17:00(祝日・12/31～1/3等を除く)
<http://www.bk.mufj.jp>

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>